



イプソスヘルスケア通信 #7 ～2018.4.4 発行～

こちらのメール配信につきましては、イプソス担当者とお名刺を交換された方、ご連絡先を頂戴した方へ弊社の最新情報等をお伝えする趣旨で配信しております。

第7号 目次



1. イプソスヘルスケアグローバル調査のご案内
2. イプソスの視点：現地で感じた海外医療事情

イプソスヘルスケアグローバル調査のご紹介

**イプソスヘルスケアは、世界約50ヶ国に拠点があり、
グローバル規模でカバーいたします**

<イプソスヘルスケアのグローバル調査>

- 世界約50ヶ国にヘルスケアチームの拠点があり、グローバル規模でカバー
- 600名以上のヘルスケア専門のリサーチャーが適切なアドバイスを提供
- 日本語・英語等のバイリンガル/マルチリンガル・スタッフが、現地スタッフと密に連携を取りながら対応
- 世界で最も幅広く疾患をカバーするシンジケート患者症例データ（リアルワールド・エビデンス）を保有

無料説明会のご案内

現在、弊社では、グローバル調査についての無料説明会を実施しております。
貴社に伺い、ビジネス課題や目的に応じて、具体的にどのような地域で、どのような調査が可能なのか、調査設計や調査手法、具体的なスケジュールなど、事例紹介や海外の医療制度等の話を交えながら、ご説明させていただきます。

説明会をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

イプソスヘルスケア：(hec_newsletter@ipsos.co.jp) / 03-6867-8110

海外進出・販路拡大をサポート

中長期的な成長戦略の実現のため、海外進出で新たな販路・市場を見出そうとする企業が増えていま

す。既に成熟期に達し、デフレや少子化が続いている国内市場においては、市場規模の先細りが避けられない状況にあり、競争は今後さらに激化していくと考えられます。

一方で、海外でのビジネス展開にあたっては、国や地域によって人々の暮らしや文化、また医療保障制度などが大きく異なることを考慮しなければなりません。それぞれの国や地域で適切なアプローチを行うためには、多くの検討課題があります。現地市場の概況や競合の動きの把握、アンメットニーズの理解、ターゲット市場の設定など、いつ、何を、どのように進めていけば良いでしょうか。

イプソス ヘルスケアは、世界約50ヶ国 600名以上のヘルスケア専門のリサーチャーが、グローバルにチームを組み、豊富な知識と各国の文化理解を背景に、現地での市場調査（カスタム調査、リアルワールド・エビデンス[シンジケート患者症例データ]）からビジネス・コンサルティングまでご提供しております。

各拠点のスタッフが現地で培った経験やノウハウを十分に活かし、適切な調査設計のアドバイスをを行い、ビジネス課題の解決の鍵となる調査結果のご報告・ご提案をさせていただきます。

世界約50ヶ国に拠点がおり、グローバルにカバーいたします



Ipsos Healthcare

日本と現地のスタッフが密に連携を取りながら、さまざまな疾患について患者背景や治療実態、アンメットニーズなどを明確に致します。調査結果は、より現実的で実現可能な戦略立案等にお役立ていただけます。マルチカントリー調査にも対応しております。

また、進出後のビジネスの改善・定着のために定期的なPDCAのお手伝いも行っております。

海外調査のご依頼は、ぜひイプソス ヘルスケアまでご連絡ください。

詳しい資料やご説明をご希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。

イプソス ヘルスケア： (hec_newsletter@ipsos.co.jp) /03-6867-8110

イプソスの視点：現地で感じた海外医療事情

現地ドラッグストアで感じた海外医療事情（オーストラリア、ベトナム編）

2018年、年明け早々、記録的な寒波とインフルエンザの猛威から逃れ、オーストラリアとベトナムへ。出張中に訪れたドラッグストアで、現地の医療事情が垣間見えました。

まずはオーストラリア

オーストラリアのドラッグストアは日本のドラッグストアと似ていました。品揃え豊富で陳列棚には症状別にたくさんの商品が並べられています。そして、やはりオーストラリア、コアラのパ

ッページも！（でも、あまりかわいくない…）

個人的に驚いたのはサプリのコーナー。



自分の気になるサプリのボタンを押すと、そのサプリが置かれた棚が「ピカリ！」と光るんです！！オーストラリアの人々は健康、"Be healthy"をととても重視していると感じました。

一方、ベトナム

こちらは大きく分けて2つのタイプのドラッグストアがありました。1つは日本やオーストラリアと同様の一般的なドラッグストア（主に外資系）。もう1つは、伝統的なローカル薬局です。



外資系のドラッグストアと比べ、店舗は非常に小さく、薬はお客さんの手の届かない場所に陳列されていました。

購入するときは、店員さんに症状などを伝え、それに合わせた薬を必要な日数分だけ購入するため、1錠単位での購入も可能です。外資系ドラッグストアも年々に増加しているようですが、バイク文化のベトナムではパッと入ってパッと買える小さな薬局がまだまだ需要が高いようです。

今後も海外医療事情について、現地で感じたことを交えてご紹介していきます！

海外調査のご依頼や、調査に関する資料やご説明を希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせください。応援メッセージもお待ちしています！

イブソスヘルスケア：(hec_newsletter@ipsos.co.jp) /03-6867-8110

お問い合わせ

■イブソスヘルスケア通信で取り上げてほしいテーマや調査でお困りのことはございませんか？

その他ご意見・ご感想・配信停止のご連絡についても、以下までお寄せください。

イブソスヘルスケア通信 編集部

メール：hec_newsletter@ipsos.co.jp

電話：03-6867-8110

イブソス株式会社 <http://www.ipsos.com/ja-jp>

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4-3-13

ヒューリック神谷町ビル

イブソス ヘルスケア
クイック調査
ご相談ください

10問100サンプル
グラフ集まで作成いたします

55万円から
(税別、謝礼込)